

「一酸化炭素中毒による頭痛と嘔吐が改善したケース」

近藤順子

女性 48 歳

【主訴】

一酸化炭素中毒による頭痛と嘔吐

【具体内容】

お茶室にて茶道レッスンをしていたときに炭を使用して釜でお湯を焚いていた。（お昼前の時間帯）

換気が足りていなかったからか頭痛を訴えていた。その後、意識が遠退くと同時に嘔吐した。

【レメディー選択】

Carb-v 30c, IP 30c, AAA 30c 以上を 1 時間ごとに 1 回、合計 3 回

【選択の根拠】

他の人は同じ部屋にいても症状が出なかったが、本人は、日常的に遅くまで働いていて睡眠不足や血の巡りが悪いため症状が現れた。そのことを踏まえ講義で習ったことやマテリアメディカを参考にして選択。

Carb-v： 講義で酸欠のレメディーと習った。マテリアメディカより血の循環が悪いという特徴も含むため選択。

AAA： 講義の中で、恐怖や不安に関する症状に用いられると習った。起こったことへのショックや恐怖を感じていると感じ選択。

IP： 講義から「吐き気、嘔吐」がキーノートのレメディーと習った。マテリアメディカの激しい吐き気、偏頭痛による吐き気という特徴から選択。

### 【経過】

はじめは顔面が蒼白な状態だった。頭痛がすると言い出したので、酸欠だと思い Carb-v を与えようとしたが、先に嘔吐してしまったので、嘔吐後にレメディーを摂ってもらった。その後、しばらく横になってもらい、1 時間ごとにレメディーを 3 回ほど繰り返してもらった。徐々に症状が落ち着き夕方には元気を取り戻していました。

### 【考察】

手元にある基本キットといざという時に持っていた AAA を選択。まず本人だけに起こった出来事へのショックを和らげるため AAA と摂ってもらった。必要なレメディーを摂ってもらうことで症状の改善はもちろんだけれど、気持ちも落ち着いたようで数時間後には穏やかな表情に変化していた。